



！ MFC導入の背景

お客様への提案資料作成のために、カラーのレーザープリンタが必須。

オールネイションズ・ソサエティ様は、米国発の葬儀会社として2003年6月に日本進出を果たしたベンチャー企業です。「生前予約」システムをコンセプトとしたその独自の事業戦略は、日本の葬儀業界に大きなインパクトを与えました。お客様の気持ちを大切にしつつ葬儀の品質を維持し、合理的なコストダウンを実現することで、急速な成長を遂げています。同社の生前予約システムでは、お客様に斎場・祭壇・骨壺・着物などの価格と内容を事前にご覧いただき、お客様に納得感のある葬儀プランを提供することがポイントとなっています。そのため、それら画像データを取り込んだ提案資料をスピーディーに出力できるカラーレーザープリンタが、必要不可欠となっていました。

！ MFCを選択した理由

必要な機能を満たしたカラーレーザー複合機を約半年分のリース料で導入実現。

同社は日本に進出した当初から、家庭用ファクス、インクジェットカラープリンタ、モノクロレーザープリンタを順に導入していましたが、インクジェットプリンタの印刷品質や出力スピード、メンテナンス費用が課題となっていました。同時に家庭用ファクスのビジネス用（レーザー）への変更要望もあり、カラーレーザー複合機の導入検討に至りました。複数の販売店からA3複合機の提案がありましたが、いずれも6年という長期リース契約、ランニングコストも高価で保守メンテナンス料も解りにくいものでした。事業に不可欠なカラーレーザー複合機を予算15万円で一括購入し、事業の立ち上げリスクを軽減したい…こうした同社のニーズにマッチしたのがブラザーのA4カラーレーザー複合機MFC-9420CNだったのでした。

！ MFC導入の成果

オフィスの省スペース化と業務のスピードアップを実現。スキャナ機能も大活躍。

MFC-9420CNの導入により、それまでのプリンタ・ファクス・コピーなどの機能はすべて1台に統合され、オフィスの省スペース化と業務スピードアップを実現しました。同社がお客様に提案する画像情報は、外部の提携先から紙・デジタルデータ・ファクスなど多種多様な形で提供されていますが、Macにも標準対応しているMFCの機能がそのすべてに対応、商品画像の出力が完全に一元化されました。またMFC-9420CNの導入で、同社の業務スタッフが要望していたスキャナのニーズにも対応。スキャンtoファイル（PDF、JPEG、TIFF、PNG）機能をフル活用し、オフィスの書類電子化を促進しています。



高機能かつ低価格のMFCは、当社の特長そのものでした。

オールネイションズ・ソサエティ株式会社 | 代表取締役 | ジョン キャン 様



当社は、お客様のニーズにあった葬儀プランを明快かつ低価格で提供することをコンセプトに事業展開していますが、ブラザーの商品ラインナップもユーザー視点で極めてわかりやすく、その機能性とコストパフォーマンスには大きな魅力を感じました。我が社の事業戦略と同じだと感じました。私の知る多くのベンチャー企業でもブラザー製品は使われていますよ。

ご購入いただいた代表的機種 MFC-9420CN

カラー8PPM/モノクロ31PPMのA4カラー複合機。いまベンチャー企業、小規模オフィスが求める複合機の決定版です。

- ＜ネットワーク標準装備モデル＞ ●カラーファクス、カラーレーザープリンタ、カラーレーザーコピー、カラーレスキャン、PCファクス、フラットベッド、ADF原稿自動送り装置、電話、ネットワーク ●プリント速度：カラー8PPM/モノクロ31PPM
- プリント解像度：600×600dpi ●標準メモリ容量：64MB ●給紙枚数：最大250枚
- ランニングコスト：カラー1枚15円(A4普通紙に5%印字の場合) ●インターフェイス：USB2.0、10/100BASE-TX、パラレル

起業間もないベンチャービジネスに MFCの機能、品質、コストメリットは大きな支えです。

□MFCによる出力環境の統合

それまでのオフィス環境のストレスを解決。
コンパクトサイズで高い品質と機能性を実現しました。

2006年2月にMFC-9420CNを導入するまで、オールネイションズ・ソサエティ様ではさまざまなマシンが併用されていました。家庭用ファクス、インクジェットカラープリンタ、モノクロレーザープリンタ等々。決して広くはないオフィスに、それらの機器が所狭しと置かれており、品質やスピードの面でも大きなストレスを感じていたといいます。MFCの導入によって、これらの課題は一挙に解決。場所をとらないコンパクトサイズで、高い品質と機能性を備えたMFCは、同社のワークスタイルを大きく効率化させました。出力物はA4サイズがほとんどで、数か月に1度あるかないかのB4サイズ以上の出力は、近くのビジネスコンビニで十分対応可能とのことでした。



同社のオフィス風景。左下には従来使用していた機器類が見えます。(普段は倉庫で保管)

□MFCの主な用途

カラープリンタとファクスを中心に全ての機能を活用。
スキャンtoPDF機能は大活躍です。



お客様のご要望に応じて、すぐに写真や資料を出力します。

「生前予約」と「お客様本意の葬儀」を特長とする同社のビジネスでは、さまざまな商品や資料をお客様にその場で出力してお渡しいことがポイントとなっています。このため、お客様との打ち合わせスペースに置かれたMacのデスクトップには、斎場・祭壇・骨壺・僧侶・着物などの写真や、各種提案資料、御見積、地図など、多種多様なデータが格納されており、必要とあらば横に設置されたMFC-9420CNからすぐにカラー出力できるようになっています。スキャナ機能もフル活用。スキャンtoPDF機能で見積書、契約書類の電子データ管理を徹底しています。

□MFCユーザーの声

起業段階にあるベンチャービジネスにとって、
先が見えない長期間のリース契約は大きなリスクです。

カラーレーザー複合機を導入する際、大型A3複合機のリース契約も検討しましたが、当社業務にはスペック過剰でした。またリース契約は基本的に解約不可、解約する場合は残金の支払いや違約金が発生するリスクがあることから、一括購入可能でリースを組む必要の無い小型複合機購入を決定しました。実際、複数の販売店から提案いただいた大型A3複合機6年リースの月額費用は18,000円～25,000円。ベンチャー企業である当社にとってこの費用負担は大きく、6年間という長期間の契約も不安材料でした。その点ブラザーのMFCは、価格スペックで十分満足できるものでした。



「ブラザーのMFCは、ウチの会社にぴったりでした」と語る、業務管理部の田中優子様。

お客様本意の葬儀と、
透明性の高いサービス・
価格で業界に新風。
大きな成長が
期待されています。



オールネイションズ・ソサエティ株式会社様は、1985年6月、米国コロラド州デンバーで設立されました。日本には2003年11月に、日本貿易振興機構(ジェトロ)の支援を受けて進出。「シンプルな葬儀をしたい」「内容と価格を明確に把握したい」「自分で考えた葬儀がしたい」などのニーズをいち早く捉え、急速な成長を遂げ、多くのメディアにも注目されています(※)。日本の葬儀市場は、団塊の世代の高齢化で潜在市場が極めて大きい反面、不透明な業界の体質の弊害が指摘されてきました。同社の透明性の高いサービスと価格は、業界に新風を吹き込むとともに、顧客満足度を大きく高めており、今後の大きな成長が期待されています。

※メディア紹介の一部: NewsWeek 2006年1月号、フジテレビ2005年10月12日放送「とくダネ!」、TBS 2005年11月6日放送「所さんの目がテン!」など多数。

設立
1985年6月(本社:米国コロラド州デンバー) 2003年11月(日本進出)
代表者
ジョン キャム(John Kamm)
所在地
東京都中央区銀座2-4-1-6F
施行地域
東京、千葉、神奈川、埼玉、愛知、大阪、京都、他
事業内容
葬祭業、葬儀に付帯する一切の業務
電話
0120-067-018(フリーダイヤル)
URL
http://www.all-nations.jp/html/ans_index.htm

このカタログの掲載商品、並びに内容についての詳しいことは、お近くの販売店でご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、下記ブラザーコールセンターまたはブラザー販売(株)の営業部におたずねください。

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00(土・日・祝祭日を除く)

情報機器事業部 北海道/011-782-6591 東北/022-227-8885 東京/03-3274-6911 中部/052-824-3196 関西/06-6543-9120 中四国/082-240-3781 九州/092-481-1560

brother

ブラザー販売株式会社
<http://www.brother.co.jp/>

〒467-8577 名古屋市長瀬区苗代町15-1

レーザーモデル
ブラザーコールセンター
☎フリーダイヤル:0120-143-410
おかけ間違いのないようご注意ください。
受付時間●9:00~20:00(月~金) ●9:00~17:00(土)
*日・祝日及び当社休日を除く
E-mail:mfc.joho@hanbai.brother.co.jp

地球環境保護のために、このカタログには大豆インキを使用しています。

■お問い合わせ、ご相談は、

[MFC導入事例・SPコード:MD7CL308A]このカタログの内容は、平成18年3月現在のものです。